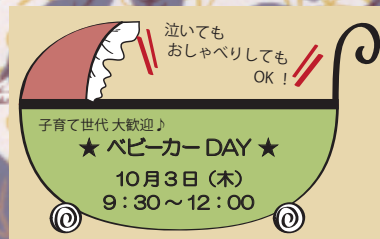


特別展

ウィリアム・モリス

英国の風景とともにめぐるデザインの軌跡

2019. 9.14 (土) ~ 10.27 (日)



ウィリアム・モリス 《果実》あるいは《柘榴》 1866年頃 / Photo © Brain Trust Inc.

開館時間：9時30分～17時(入場は16時30分まで)

休館日：月曜日(祝休日の場合は翌平日)

観覧料：一般1,000円、高・大生800円、中学生以下無料

会場：そらんぼ四日市(四日市市立博物館)4階特別展示室

主催：四日市市立博物館

後援：中日新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞中部支社、
伊勢新聞社、(株)シー・ティー・ワイCTY-FM、
三重エフエム放送、三重テレビ放送、NHK津放送局

企画協力：ブレントラスト

「織作峰子 ギャラリートーク」

10月5日(土) 13:30～14:30

場所：4階特別展示室(当日の観覧券が必要です)

講師：織作峰子さん(写真家・大阪芸術大学教授)



四日市市立博物館・プラネタリウム

〒510-0075 三重県四日市市安島一丁目3番16号
TEL 059-355-2700 (代) FAX 059-355-2704

そらんぼ四日市

検索



特別展

ウィリアム・モリス

英国の風景とともにめぐるデザインの軌跡

2019. 9.14(土) ~ 10. 27(日)



①

19世紀の英国を代表する芸術家ウィリアム・モリス(William Morris, 1834-1896)は、デザイナー、詩人、社会思想家、経営者など多彩な分野で活躍しました。ロンドン北東の郊外に生まれ、モールバラ・カレッジやオックスフォード大学に学んだモリスは、建築家、次いで画家を志したのち装飾美術に身をささげる決心をします。産業革命により大量生産品があふれた時代のなか、モリスは丁寧な手仕事を愛し、デザインから制作、経営に至るまでを自ら手がけました。アーツ・アンド・クラフツ運動の最大の先駆者であり、「モダン・デザインの父」と呼ばれたモリスとその仲間たちが手がけたデザインは、現代でも多くの人々に愛されています。

またモリスの制作活動は、その時々に住まい、学び、働いた場所に大きく影響を受けました。本展ではモリスの制作活動の源になった美しい英国の風景を、写真家・織作峰子さんが撮影した写真とともに紹介します。モリスの生涯とデザインの軌跡を、約100点の作品とともに楽しくみください。



②



③



④



⑤

🎨 展覧会行事

「織作峰子 ギャラリートーク」

10月5日(土) 13:30~14:30

写真家・織作峰子さんの案内で、美しい英国の風景とウィリアム・モリスの世界をご紹介します。

講師：織作峰子 さん

(写真家・大阪芸術大学教授)

場所：4階 特別展示室

(当日の観覧券が必要です)



⑥

観覧料	一般	高大生	中学生以下
	1,000円	800円	無料

団体(有料観覧者20人以上)は2割引・障害者は5割引
ミュージアムマイスターカードの提示で2割引

チケットの半券で、近鉄百貨店四日市店9階・10階レストラン街(一部除く)、都ホテル四日市、ふれあいモールアサヒビヤテラス、酒蔵庵(保室)での割引やドリンクサービス等があります。

左より：①(ウィリアム・モリス肖像)、②ウィリアム・モリス《いちご泥棒》1883年、③ウィリアム・モリス《メドウエイ》1885年、④ジョン・ヘンリー・ダール《ゴールデン・リリー(白)》1899年、⑤デザイン：ウィリアム・モリス/刺繍：おそらくメイ・モリス 暖炉の衝立《クランフィールド》1890年頃以上すべて Photo © Brain Trust Inc.
⑥織作峰子 写真《赤煉瓦の館》撮影地：レッドハウス Photo © Mineko Orisaka © Brain Trust Inc. Thanks to the National Trust Red house, Bexley, London.

常設展

「時空街道」は、原寸大の建物の中を歩き、原始・古代から江戸時代までの四日市のあゆみを体感できる常設展です。

時空街道 ツアー (参加無料)

10月14日(月・祝)、11月4日(月・休)

いずれも 14:15 ~ (約1時間)

体感型常設展「時空街道」の見どころを、博物館ボランティアがご案内します。

場所：3階時空街道(入口にお集まりください)

定員：10人ほど

(当日自由参加)



歴史地
白里亭

館藏品展Ⅱ「伊勢湾台風」

9月14日(土) ~ 10月20日(日)

60年前、大被害をもたらした伊勢湾台風の猛威を再び見つめます。



館藏品展Ⅲ「三重の里山の山菜」

10月26日(土) ~ 12月1日(日)

県内産山菜標本を通して継承される豊かな食文化を紹介します。



ミュージアムセミナー

絵画史を彩る作家と名品

気鋭の研究者と当館学芸員によるセミナー。今年は近世・近代の日本絵画をテーマに、作家とその名品についてお話しします。

第3回「富岡鉄斎とその時代」

10月19日(土) 13:30~15:00

講師：木本文平(碧南市藤井達吉現代美術館館長)

場所：1階講座室 聴講料：無料

定員：50人(当日受付、先着順)

この時期の催し物

イベント

いちにの散策よっかいち 事前申込制

まちなかで小さな発見！
散歩のようなフィールドワーク。

智積養水とその周辺

10月26日(土) 10:00~12:30頃

場所：桜地区

参加費：実費

定員：10人



大人向け教室

大人の学びなおし 事前申込制

昔習った歴史は古くなっているかもしれませんが、現在の教科書に書かれている内容を当館職員が解説します。

第2回 9月1日(日) 13:30~15:00

第3回 10月6日(日) 13:30~15:00

場所：1階講座室

参加費：200円

定員：30人



大人の社会科 事前申込制

博物館に興味をもつ大人を対象にしたワークショップ。

第3回「学芸員体験 資料の調査方法」

9月28日(土) 10:00~正午

場所：1階講座室

参加費：200円

定員：20人



館長講座「日本美術の新しい見方」

当館館長による講座。「美術史」の堅苦しいイメージからほんの少し視点や見方を変えて、面白くて魅力ある日本美術に迫ります。

第6回「日本文化の『東西南北』」9月21日(土)

第7回「『風景画』の流れ」10月12日(土)

以降毎月1回開催 いずれも 13:30~15:00

場所：1階講座室 参加費：300円

定員：50人(当日受付、先着順)



事前申込制行事の申込方法

開催日の10日前(必着)までにハガキがファクス、Eメールで、行事名・名前(ふりがな)・住所・電話番号・ファクス番号・学年(年齢)をご記入のうえ下記へお送りください。また、手続通訳等を必要とする方はお書き添えください。なお、応募多数の場合は抽選といたします。

●ハガキ：〒510-0075 四日市市安島1-3-16 四日市市立博物館「行事名」係 ●ファクス：059-355-2704

●Eメール：hakubutsukan@city.yokkaichi.mie.jp ※件名は「(行事名)申込」としてください。

四日市市立博物館・プラネタリウム

交通のご案内

近鉄四日市駅・あすなろ四日市駅から西へ徒歩3分
JR四日市駅から西へ徒歩20分
近鉄四日市バス停から徒歩3分 文化会館前バス停から徒歩2分
博物館には専用駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

J/Aパーキングをご利用の方は、2時間までの無料駐車券をお渡しします。お帰りの際に総合受付にてJ/Aパーキングの駐車券をお示しください。



次回展覧会のご案内

企画展 **みなとの歩み ~市庭浦から港へ~** 開港120周年記念展
11月9日(土)~12月15日(日)

プラネタリウムのご案内

「アースシンフォニー 光と水が奏でる空の物語」
「ムーミン谷のオーロラ」
「12の星ものがたり・秋 ~あなたの誕生日の星空は?~」(日時により番組が異なります)
9月10日(火)~12月15日(日) <毎週土曜の夜は夜間特別番組を放映>